

生活の質向上のため、早期社会復帰、スポーツ復帰を目指して治療にあたっています。
背骨や関節の痛みや変形、手足の神経痛などは生活の質を低下させ、特に高齢の方は寝たきりの原因にもなります。

運動療法や物理療法などを取り入れて運動することで、身体機能の回復の他に、後遺症を残さないという目的もあります。骨や関節は動かさないまましていると、どんどん悪化してしまいます。

姿勢や歩き方を補正し、正しい筋肉トレーニングを行い、脳が間違っていて記憶している動作を修正することで、症状を根本から改善していくことにもなります。

ご自宅などでも適切なリハビリテーションができるように必要な方には、アドバイスをさせていただきます。

運動療法

実際に体を動かして関節の可動域を拡げたり、筋肉の質を高めたりします。

慢性的な痛みの改善には欠かせない根本的な治療です。

予防や治療の目的で、腰痛体操、転倒予防など、筋力と柔軟性、バランス能力の改善を図ります。



腰痛体操



柔軟性や筋力をつける



牽引療法



温熱療法や電気療法

物理療法

物理療法とは、理学療法とも呼ばれ、牽引（けんいん）療法や温熱療法、電気療法など、薬物を利用せずに物理的な手段を用いて痛みを取り、炎症を和らげる治療方法です。